

# 田尻町 議会だより

Vol.87

平成23(2011)年  
5月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



ご入園・ご入学  
おめでとう  
ございます

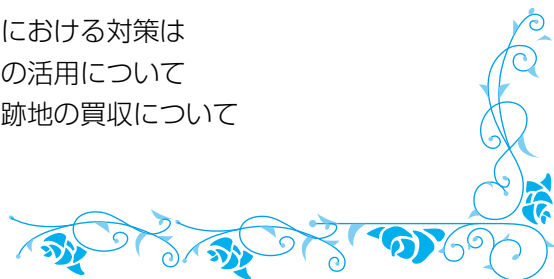


## 主な内容

- ★ 一般質問 ..... 2 頁
- ★ 委員会報告 ..... 5 頁
- ★ 意見書・決議・議員表彰・  
ホームページのお知らせ・編集後記 ..... 8 頁

# 一般質問

- 伊藤 幸子 議員
  1. ふれ愛センターの有効活用について
  2. 住民自治について
- 東 小夜子 議員
  1. 人権行政の推進とは（施政方針より）
  2. 職員の人材育成について（施政方針より）
  3. あき家による町民の安全対策は
- 吉開 育子 議員
  1. ボランティアごみ袋の作成、配布を求める
  2. 介護保険料の引き下げと独自減免制度の実施を求める
  3. 町道北りんくう嘉祥寺線の迷惑駐車解消を
- 小川 雄司 議員
  1. 中学校に野球部をつくるには
  2. 府営吉見住宅跡地開発に伴う幼保・学校施設整備計画は万全か
  3. 3歳児幼稚園保育の復活のメドは
- 高木 謙治 議員
  1. 大規模災害時における対策は
  2. 花王石鹼跡地の活用について
  3. 大阪府営住宅跡地の買収について



伊藤 幸子 議員

## 問 ふれ愛センターの有効活用について

答 利用者の意見を参考に考える

問 23年度の町長の施政方針は、第4次田尻町総合計画の実現をめざす内容でありました。コンパクトシティとしてのまちづくりを進めて行くためには、人と地域資源力を高め、新たな発想が必要だとあげられています。ふれ愛センターはオープンして13年になりますが、その間1階に教育委員会が移設され、2階にキッズルームが開設されています。しかし当初からの20万人規模の施設として建てられた地域資源をうまく活用しているとは到底思えません。この際修繕だけでなく本腰を入れてリニューアルすべきと考えますが。



ふれ愛センターの狭い給湯室

答 現在のところはリニューアルの開始の予定はなく、来年度からは、3階の老人福祉センターの教養娯楽室を長

友会の皆さんが今以上、定期的に利用することになっているので、要望があれば利用者の意見を参考に検討していく。

## 問 住民自治について

答 住民が行政に参画する機会を設ける

問 住民と行政とが協働することがまちづくりには不可欠なので、地域の活力を維持、増大していくためにも、町も積極的に支援すべきと考えますが、最も大事な人づくりについての具体的な案を聞きたい。

答 本町は、小・中学校、幼稚園、保育所が各1校、1園、1所あり一貫教育が出来る立地条件が整っている。このメリットを最大限に生かし、学校・家庭・地域が連携をとりながら、青少年が地域等で主体的に役割を果たせる社会づくりに向け、積極的に意見交換できる仕組みづくりを進めている。さらに住民が行政に参画する機会を設けるとともに、住民と行政の役割を明確にし、より一層の住民主体の参画と協働のまちづくりが必要であると考えている。

東 小夜子 議員

**問** 法律無料相談を毎月**答** 今のところ回数をふやす予定はない

**問** 23年度施政方針には、さまざまな人権課題に適切に対応できるよう、相談事業を核とした行政各分野における総合的な人権行政の推進に努めますとありますが具体的にどのように推進していくのか。その中で、法律無料相談は田尻町では2ヶ月に1回ですが、毎月にするつもりは。

**答** 新たな人権課題に対しても、総合相談事業を初め、弁護士相談や女性総合相談など専門的な知識を必要とする各相談との情報を共有することにより、相談者に迅速かつ的確な支援が行えるよう効果的な問題解決を目指して、関係機関との連絡及び相談事業の充実を図っている。また、法律相談の回数は今のところふやす予定はない。

**問** あき家による町民の安全対策は**答** 直接的な対策は行わない

**問** 最近、町内にもあき家が増えてきており、このままでは倒壊したり、放火等が発生する可能性があり、周辺住民にとっては危険な状況となっています。町としてこれらの安全対策についてはどのように考えているのか。また、国の動向は。

**答** 町内の古くからの住宅において、空き家が増加傾向であることは認識している。ご指摘の安全対策については、所有者への指導などケースに応じた啓発活動等を実施しているが、本来自己管理責任の問題であるので、直接的な対策は行わないものと考えている。また、国交省が平成21年7月の国土審議会の中で、所有者が不在、不明の不動産問題について、今後検討することが必要であるという認識を持ったということを聞いている。

吉開 育子 議員

**問** ボランティアごみ袋の配布を**答** ケースに応じて対応する

**問** 泉佐野市では市道や公共施設などの清掃に協力している団体、個人に対して45ℓのボランティア袋を無料配布しています。本来自治体が管理しなければならない公共施設の清掃を、住民に善意で手伝っていただいているので、ごみ袋の提供は当然です。田尻町においては、住民が家の前の溝のごみを拾いたいけどお金がかかると言っています。土地改良区では、農水路のごみを拾っていただいている住民に対し、指定ごみ袋を無料で配布しています。住民の善意に頼って袋を支給し、協働して町を美しくするのがいいではありませんか。ボランティア袋の無料配



布を求めます。

**答** 例えば、大きな児童遊園とか公園の落葉を地区の住民さんが掃除され何袋か出た場合については、ケースバイケースで対応していきたい。

**問** 介護保険料の引き下げを  
求める**答** 基金を取り崩し、保険料軽減に活用する

**問** 田尻町の介護保険料は黒字が続き、基金の総額は5,101万円あり、被保険者一人あたり2万9,300円の黒字となっています。これは本来被保険者に返すべきお金です。高齢者の皆さんからは「保険料が高すぎる。引き下げてほしい。」という声が多数寄せられています。第5期の保険料を決めるにあたり、黒字分を保険料に繰り入れて引き下げるべきです。

**答** 住民の負担が少しでも軽減できるよう、積み立ててきた基金を取り崩し、保険料軽減に活用したい。

**問** 中学校野球部復活の  
要望実現を

**答** 復活させることは無理である

**問** 中学校に野球部をつくってほしいと1,309名の署名が提出されました。中学校を分離して軟式野球もできる単独の運動場をもつ普通の中学校になることが理想です。そうならなくても11年前に野球部が復活され2年ほど続いたこともあります。現在の教員数と変わらなかったと思います。野球部顧問を併任していただき外部コーチを招へいしてできないか。常勤講師を町が採用してできないか。少年野球に取り組む子どもは100人余りになっており、実現させてほしい。

**答** 野球部の復活は学校長が総合的に判断することになる。現状の教員はすべて部活動にかかわっており、95%の生徒がいずれかの部で活動してる。今あるクラブに追加して野球部を復活させることは、教員の定数上無理であると考えます。

**問** 住宅開発に伴う校園所の  
受け入れ体制は万全か

**答** 幼保、小・中学校の教室は大丈夫だと考える

**問** 今年から府営吉見住宅跡地に3期にわけて10年間で120戸の開発が予定されています。現在の施設で保育所待機児を発生させず、幼稚園4・5才児希望者全員入所に対応できるのかどうか伺います。本町は人口増加により幼稚園の3才児を休止している状況にあります。近隣市町では、岬町、阪南市、泉南市、泉大津市が新たに3才児保育を実施しはじめました。本町も施設整備を行って復活させるべきです。また、小・中学校はどうか。

**答** 現在の幼保施設は、厨房等の能力から受け入れ限度は250名から260名程度と見ている。開発により保育所等への入所希望がふえると思うが、幼稚園3才児保育を休止しているので、受け入れ限度を超えないと考える。児童の減少により幼稚園3才児保育の復活は考えられるが、新たな施設整備はしない。小・中学校の教室は大丈夫だと考えている。

**問** 大規模災害時における対策は

**答** 避難誘導訓練等を行っていく

**問** 東南海・南海地震が近い将来起こると予測されています。本町として、住民の安全を守るためにどのような対策を取っているのか、災害が起こった場合、復旧費用に数億円かかることもある。本町は不交付団体であるが国から交付金はあるのか。

**答** 東南海・南海地震は向こう30年間に60%の確立で発生すると言われている。住民みずから守る自助、住民相互による共助、公的機関による公助が機能的に行われることで、被害を最小限度に食い止められると言われている。海溝型地震による津波、家屋等の倒壊を想定して、自主防災組織と防災機関等が連

携し、安否確認、避難誘導訓練等を行っている。また、災害復旧に係る起債に対する交付金については、国が費用の一部を負担することになっている。

**問** 花王石鹼跡地の活用は

**答** 処分を含め検討する

**問** 花王石鹼跡地は利便性も良く、広場として適当な広さもあり、そのまま利用しないで空き地としておくのもったいないと思う。駅上広場のように整備して住民に開放し利用してもらえれば、駅上広場使用を希望する団体が優先的に利用することができ、時間延長も充分可能で、住民ニーズに応えることができるのでは。

**答** 専用的なスポーツ活動は潮風グラウンドに集約し、駅上広場は幅広い利用を望めるコミュニティ広場として利活用を進める。花王石鹼跡地は面積が約3,000㎡あり、平成10年に憩いの広場用地として取得した。これまでいろいろと合理的な利用方法を検討してきたが、今度はあらゆる活用策という意味で、処分も含めて検討し、その結果を提案したい。

**田尻町 避難場所一覧表**

● 広域避難地 ●	● 一時避難地 ●
駅上広場 (旧 田尻町立中学校 総合運動場)	田尻町立中学校校庭 田尻町多目的グラウンド 駅上広場(旧 田尻町立中学校総合運動場)
● 避難所 ●	
田尻町立小学校体育館	電話 465-0008
田尻町立中学校体育館	電話 465-0142
田尻町総合保健福祉センター	電話 466-8811
田尻町立公民館	電話 466-0030
※田尻町多目的グラウンド(屋内)	電話 490-2300
※津波のおそれのあるときは使用できません。	

# 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 伊藤 幸男

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月4日開催)

◎町道路線の認定の件  
(町道の認定) 【全会一致で可決】

**問** 今回なぜこの道路を町道認定する必要があるのか。

**答** 従前この道路は府営吉見岡田住宅内道路で大阪府が維持管理を行ってきたが、今後この府営住宅跡地が売却・開発される予定であることから、この地域のより良い開発に資するため町道認定を行う。



◎田尻町の休日に関する条例一部改正の件  
(年末年始の町の休日の変更) 【全会一致で可決】

◎田尻町減債基金条例制定の件  
(減債基金の設立) 【全会一致で可決】

**問** 数々の町民要望がある中、毎年1億円ずつ積み立てていくことについて、住民の理解は得られるのか。

**答** 平成27年度に一括返済可能な起債があり、これに向けて毎年1億円ずつ積み立てることで、効果額が4,800万円見込める。今後も適正な財政運営を図るためには、毎年均等した額を積み立てることが重要であると考える。

※起債…町の借金

◎田尻町住民生活に光をそそぐ基金条例制定の件  
(交付金の拡充) 【全会一致で可決】

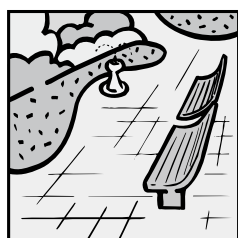
**問** 平成25年度末でこの条例が効力を失った際、基金に残高があれば国庫に納付するとあるが、交付金は使い切る予定か。

**答** 今回の交付金を使って家庭・児童相談員の配置を考えており、交付金については全て使い切る予定である。

◎田尻町安全、安心で快適な生活環境の整備に関する条例制定の件  
(安全、安心で快適なまちづくり) 【全会一致で可決】

**問** この条例の意図は。

**答** 行政と町民協働で快適な生活環境を築いていくために、町民の皆様方の意識改革の一歩となるよう制定するものである。



◎田尻町水道事業の設置等に関する条例一部改正の件  
(課の統合) 【全会一致で可決】

◎田尻町消防団員等公務災害補償条例一部改正の件  
(災害等級表の見直し) 【全会一致で可決】

◎平成22年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件  
(1億8,240万5千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 町道新家田尻線の工事費が予算計上されているが、工事内容は。

**答** 道路照明2基と歩道を通行されている方が車道に飛び出さないための横断防止柵を設置する予定である。

◎平成22年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第2号)の件(814万8千円の減額) 【全会一致で可決】

## 文教厚生常任委員会

委員長 射場 義幸

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月7日開催)

◎田尻町乳幼児等医療費の助成に関する条例一部改正の件  
(助成対象年齢の拡大) 【全会一致で可決】

**問** 医療費助成の対象年齢の拡大によって、町の財政負担はどのくらい増えるのか。

**答** 対象年齢を小学3年生から中学3年生まで引き上げることにより、年間約1,200万円の増加を見込んでいる。

◎田尻町国民健康保険条例一部改正の件  
(賦課限度額の引き上げ等) 【賛成3、反対1で可決】

**問** 平成21年度決算が黒字であったにも関わらず、なぜ賦課限度額を引き上げる必要があるのか。

**答** 国保会計はここ数年不安定な状況が続いているため、本町としては黒字額を基金に積立て、長期的な保険料の安定を目指している。そのため、賦課限度額を決めていく過程において、黒字や赤字ということは直接結びつかないものと考えている。



◎議員提出修正案 田尻町国民健康保険条例一部改正の件

※原案から賦課限度額の引き上げを削除した修正案  
【賛成1、反対3で否決】

◎ 議員提出議案 田尻町第2多目的グラウンド設置条例制定の件

(第2多目的グラウンドの設置)

【賛成1、反対3で否決】

**問** この場所で野球をするには、防球ネットが必要となるが、費用についてはどのように考えているか。

**答** 防球ネットの費用は3,960万円を見込んでいるが、この金額には樹木の伐採、残土処分、仮設費等は含まれていない。また、工事費の予算については、当初予算の修正案を考えている。

**反対討論** 広場の使用時間は使用規則の見直しで解消できる。

**賛成討論** 駅上広場では子どもたちがのびのびと野球をすることができない。

◎ 議員提出議案 田尻まちなか広場設置条例制定の件

(田尻まちなか広場の設置) 【賛成1、反対3で否決】

**反対討論** この条例は将来を見据えたものでない。

**賛成討論** この施設の設置により、学童保育の子どもたちの引率問題の解消や幼稚園3歳児保育の復活にも繋がっていく。

◎ 平成22年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件

(1億8,240万5千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 公民館の図書購入費として60万円の補正予算が計上されているが、住民から本数が少ないとの意見がある。今後、蔵書を増やしていく考えは。

**答** 図書室の限られたスペースに住民の皆様のニーズに応えられる本を設置するため、日々の利用状況を分析するとともにリクエストも聞きながら本を購入していきたい。



◎ 平成22年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)の件

(560万1千円の増額) 【全会一致で可決】

◎ 平成22年度田尻町老人保健特別会計補正予算(第2号)の件

(歳出科目間の増減) 【全会一致で可決】

◎ 平成22年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の件

(45万2千円の減額) 【全会一致で可決】

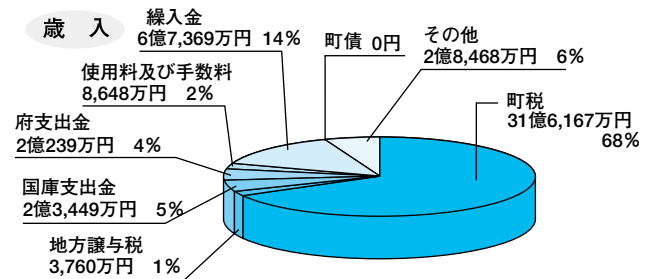
# 予算特別委員会

委員長 射場 義幸

予算特別委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(3月8・9日開催)

◎ 平成23年度田尻町一般会計予算の件

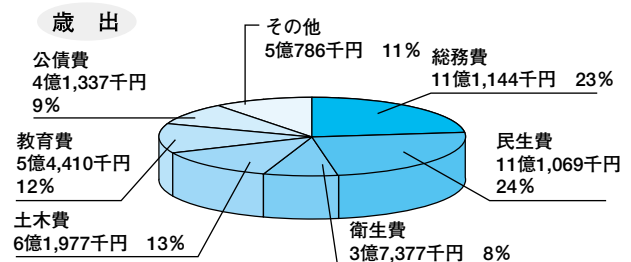
・46億8,100万円 【賛成8、反対2で可決】



**歳入**

**問** 関空関連税収が減少したとの事だが、今後増収は見込めるのか。また、りんくうタウンに警察学校ができることによる税収への影響は。

**答** 地価の下落等により関空関連税収は減少しているが、将来的には二期島の竣工により約3億円の増収を見込むことができる。また、警察学校関係の税収としては不確かな部分もあるが、3千万円程度は見込めると考えている。



**歳出 総務費**

**問** 植栽管理を今以上にシルバー人材センターに委託することは可能か。

**答** 松の剪定や薬剤散布といった専門性の高いものは業者に委託し、それ以外の軽作業の部分はシルバー人材センターを活用するというように、作業の内容に応じて適正な発注を心がけていきたい。

**民生費**

**問** 今年度から緊急医療情報キットが予算化されているが、これはどのようなものか。

**答** このキットは救急時に必要な情報(持病、かかりつけの病院、常服薬、緊急連絡先等)を書いてプラスチックの筒状ケースに入れて保管しておくもので、70歳以上の高齢者への配付を考えている。

**衛生費**

**問** 容器包装プラスチックの分別収集について、田尻町

は厳しすぎるとの意見を聞くことがあるが、その辺りはどう考えているのか。

**答** 本町は中に何が入っているのかわかるよう透明のゴミ袋を利用することによって、廃プラの品質評価において最高基準の判定をいただいている。苦情に関しては1軒1軒説明させていただき、ご協力を願っているのが現状であり、今後もこういう形で続けていきたいと考えている。

#### 労働費

**問** 就労支援講座はどのような内容を考えているのか。

**答** 医療事務2級を考えているが、住民ニーズを把握するためアンケートを実施し、決定していきたい。

#### 農林水産業費

**問** 土地改良区補助金（460万円）が昨年比に倍以上になっている理由は。

**答** 夫婦池の第2揚水機が老朽・劣化しているため、大阪府の補助を受けて改修工事を行うが、その工事に係る町負担分を従前の予算額に上乗せしているためである。

#### 土木費

**問** 大阪府建築物震災対策推進協議会とはどういう協議会か。

**答** 公共と民間団体が連携して既存建物等の耐震性の向上や被災建築物等の応急危険度判定の体制整備を図り、災害に強いまちづくりを目的に、年に数回、職員を対象に研修会等を行っている。

#### 消防費

**問** 自主防災組織資機材としてエンジンカッター等を購入するとの事だが、これは誰でも簡単に扱える器具ではない。そのあたりはどう考えているのか。

**答** 年1回実施している防災訓練で、これらの器具の取り扱い方法を説明したり、実際に使用していただくといった訓練も行っていきたい。

#### 教育費

**問** 愛らんどハウスのステンドグラス修繕料が今回初めて計上されているように思うが。

**答** 愛らんどハウスは築90年を経過している。今回は洋館1階書斎の窓にあるステンドグラスが湾曲しているため、1度解体してフレームを直し、組み立てて復元する予定である。



**反対討論** 子育て施設の充実や生涯学習、青少年の健全育成につながる住民要望実現の視点が欠けている。

◎ 議員提出修正案 平成23年度田尻町一般会計予算の件

※原案から減債基金積立金を減らし、教育施設整備基金積立金を増やす修正案

【賛成2、反対8で否決】

**賛成討論** 本修正案は駅上広場に防球ネットを設置する予算となっていることから、子ども達がのびのびと思い切り野球の練習をすることができる。

◎平成23年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算の件

・9億6,647万1千円 【全会一致で可決】

**問** 保険料の算定方式から資産割をなくす事による影響額は。

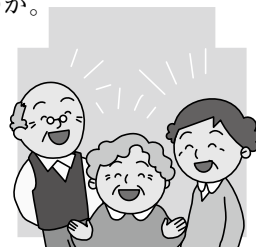
**答** 現在資産割で賦課している800万円を平等割に上乗せすることになる。これによる影響額は1世帯あたり年間約5,000円と見込んでいる。

◎平成23年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件

・9,226万7千円 【全会一致で可決】

**問** 今年度の保険料はどうなるのか。

**答** 平成22年度と23年度の2年間は財政安定化基金を取り崩して保険料を引き下げることになっており、今年度の保険料については昨年度と同額である。



◎平成23年度田尻町介護保険特別会計予算の件

・5億4,019万5千円 【全会一致で可決】

**問** 地域包括支援センターは昨年度と同じ体制なのか。もう少し予算を増やすことはできないのか。

**答** 本町は対象者が少ないこともあり、来年度については、現行の予算額と体制で行っていきたいと考えている。

◎平成23年度田尻町下水道事業特別会計予算の件

・6億5,484万1千円 【全会一致で可決】

**問** 下水道管を通して使用されなかったら意味がない。今後どのように水洗化を推進していくつもりか。

**答** 本町の水洗化率は82.6%である。水洗化の更なる促進に向けて、平成22年度は駅前啓発、個別ビラの配布、個別訪問等を行った。今後も引き続き啓発に努めていく。



◎平成23年度田尻町水道事業会計予算の件

・2億4,507万1千円 【全会一致で可決】

**問** 平成23年秋ごろに実施予定のハンディターミナルによる検針とはどんなものか。

**答** 現在は検針員がメーターを確認後、使用量を手書きしてお知らせしているが、ハンディターミナルを導入することで使用量と一緒に水道料金もお知らせできるようになる。

## 意見書

## ◎学校保健安全法による医療費助成（歯科）の適用範囲拡大を求める意見書

全会一致で可決

趣旨 学校保健安全法にもとづく医療費助成の適用範囲をう歯に限定せず、歯周疾患等にも広げること。

【一部抜粋】

提出者：射場 義幸 賛成者：伊藤 幸男

提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／文部科学大臣／厚生労働大臣

## ◎道徳教育の充実を求める意見書

賛成多数で可決

趣旨 道徳教育の時間を優先的に確保し、学校をあげて道徳教育に取り組むこと。【一部抜粋】

提出者：明貝 一平 賛成者：伊藤 幸子

提出先：衆議院議長／参議院議長／内閣総理大臣／文部科学大臣

## 東北地方太平洋沖地震に関する決議

去る3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族や被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。

今回の、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9.0の巨大地震では、東北地方を中心に広範囲にわたる地域で、地震動、津波等により、多数の死傷者や行方不明者をもたらした。また、産業や道路・鉄道などの交通、水道、電気、通信等のライフラインなど、住民生活に壊滅的な打撃を与え、時間の経過とともに、被害が拡大している中、被災者の救済・支援や被災地の復旧が急務となっている。

被災地では、自衛隊や海外からの緊急援助隊等の応援も得て、全力で復旧に取り組まれているが、今回の被害状況から見て、地元自治体、住民が、そのすべてについて万全の措置を講ずることは、極めて困難な状況にある。

被災者の救済・支援及び被災地の復旧は、被災地住民のみならず、国民すべての強い願いである。本町においても、大阪府などとの連携のもと、可能な限りの救援活動を進めているところであるが、福島原発の放射能漏れ重大事故も含め、未曾有の被害状況から見て、国を挙げての強力な取り組みが求められている。

したがって、国におかれては、今後、速やかな情報の共有化を図るとともに、被災者の救済・支援並びに被災地の復旧に向けて、補正予算の編成も含め、万全の対策を講じられるよう、強く要請する。

以上、決議する。

平成23年3月22日

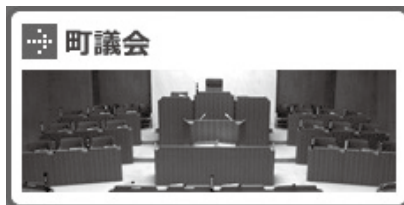
大阪府泉南郡田尻町議会

## 事務局よりお知らせ

## 田尻町議会のホームページができました

町のホームページリニューアルに伴い、議会のホームページ(<http://www.town.tajiri.osaka.jp/chogikai/>)ができました。

こちらで議員名簿や会議の結果等をご覧いただけます。また、本会議の前には議会の日程も掲載いたします。

全国町村議会議長会より  
勤続表彰を受賞

多年にわたり、町議会議員として自治の振興発展に対する多大な貢献が認められ、永年勤続議員として表彰されました。

齊藤 義春 議員  
(27年永年表彰)高木 謙治 議員  
(15年多年表彰)

## 編集後記

陽春の候、皆様方におかれましては、いかにお過ごしでしょうか。

また、平素より町議会に対し、温かいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

4月24日執行の町議会選挙により、5月から新しい議会体制となりますが、広報委員会のメンバーが代わっても、皆様に愛され読みやすい議会だよりをめざしてまいります。

今後とも、ご支援ご協力お願い申し上げます。ごあいさつといたします。

広報委員長 伊藤幸子  
副委員長 明貝一平  
委員 齊藤義春  
委員 東小夜子  
委員 吉開育子